

つぶつぶ de 楽ちん子育て！



赤ちゃんの成長を眺めて楽しむ

子育てって、大変なもの…そう思っていませんか？

大変な子育て…に振り回されていませんか。

ホントの子育ては、とっても簡単！

その秘訣は、巷の子育て情報を一切

手放すことと、つぶつぶの実践です。

連載1

赤ちゃんの成長を眺めて楽しむ



赤ちゃんは泣くもの？

赤ちゃんは泣くもの、ぐずるもの、という常識が一般的です。あなたもそう思つていませんか。実際にたくさんの赤ちゃんが四六時中泣いてお母さんを困らせていました。ところが、つぶつぶで育つ赤ちゃんは必要なとき以外には泣きません。信じられないかも知れませんが、ほんとうは、赤ちゃんはむやみに泣かないものです。そして、ニコニコと誰にでもなづきます。

イヌイットやアフリカ先住民部族の育児法

それを実証する記事を、facebookで
シップが日常的です。これにより赤

見つけました。吉富信長さんという方が書いています。「イヌイットやアフリカの先住民族系部族では、赤ちゃんが泣くときは何か問題や泣く原因があるときだけというのが常識」という内容です。

歐米式の育児方法では、赤ちゃんが泣いてもすぐには抱いてはいけない、添い寝もダメ、放置により自立を促すと

いう方式です。しかし、イヌイットの育児方法では、赤ちゃんが生まれると、トナカイの毛皮で出来たおむつを、その上からさらりと毛布で固くラッピングするように巻き、背中におんぶをします。このラッピングは赤ちゃんにとって子宮のような感覚に似ているとされています。また、添い寝やスキン

つぶつぶマザー伊藤信子



長男9歳、長女6歳、次男3歳、次女8ヶ月の4児の母です！

長男が突然「交通公園に行きたい」と言い出して…

我が家家の末っ子は8ヶ月。ハイハイしたり、テーブルに手をつき立ち上がるようになりました。何も教えなくても、嬉しそうにどんどん前へ進んでいく姿を見ていると、子どもは内から突き動かされるように自然に「育つ」ものだと改めて感動します。今でも忘れないのは、長男が4歳の秋、初めて自転車に乗れるようになったときのこと。近所の公園で遊んでいたら突然「交通公園に行きたい。補助なしで乗ってみる。」と言いました。時計は15時を回っていました。「え～今から？」と内心思いましたが、車で出かけました。

彼は、自分がその気にならなければ人に言われても絶対やらない性格。補助輪なしの練習も、それまで誘っても見向きもしませんでした。それが一体何が起きたのでしょうか！公園に着いてから日没までの約1時間、補助輪なしの自転車にまたがり、あっという間に乗れるようになったのです。私はその間、「すご～い！乗れるようになったね！」と当時2歳の長女を抱いて眺めていただけ。ああ、こうやってちゃんと自分で育ってゆくんだ、と驚きと共に痛感した出来事でした。

つぶつぶマザー大森かおり



7歳、1歳半の2人の男の子を楽ちん子育て中！

階段に夢中な次男、宿題をようやくするようになった長男

階段を登ったり降りたりするのが大好きな次男。

大人やお兄ちゃんと同じように手を使わずに登り降りしたい、早くから壁を持ってなんとか自力で行こうと一生懸命です。何にも教えていないのに。そこで、危ないからやめなさい！では、いつまでたっても登れない。危ない時にはサッと手を出せるようになりますが、だまって傍で応援している感じです。

長男も同じ。例えば「早く宿題しなさい！」とは言いません。私の子どもの頃は宿題しないで学校に行くなんてあり得なかったのですが、長男もなかなかのもので、宿題をしないで平気で学校に行きます。それでも、先生に怒られるのに憲撃たのか、休み時間に遊びたいからか、ようやくこの頃、自分で時間を決めて宿題をするようになってきたんです。

「やりなさい！」って夫が一生懸命言つた時は、反発してしなかったのに、自分ですると決めたらできるんですよね。あれこれ細かい余計なことを口出しせず、「信頼しているよ～。大好きだよ～。」って、愛の言葉を発していると、時がくれば自分で成長する、それを信頼して待てる母になりたいと思います。